令和 7 年度

事業者番号	0116	事業所番号	011601

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告

1　事業所の概要

（1）事業所種別

事業所種別	
C	C　平成20年度以降の3か年度（年度の途中から当該事業所の使用が開始された場合にあっては、当該年度を除く3か年度）連続して、年間原油換算エネルギー使用量が1,500kL以上の事業所（他の事業所の一部（区分所有部分、テナント部分等）である事業所は除く）

（2）事業所及び事業内容

事業所名		西武本川越ステーションビル
事業所所在地	市区町村	川越市
	字・地番	新富町一丁目22番地
産業分類名（中分類）		58 飲食料品小売業
分類番号（中分類）		58
事業活動の概要	事業内容	雑貨、カフェ、食品等の小売業（本川越ＰｅＰｅ）、宿泊業（川越プリンスホテル）の複合ビル

2　事業所の温室効果ガス排出量の削減目標

（1）第３計画期間の削減目標

計画期間	2	年度	～	6	年度
削減目標 エネルギー起源CO_2（必須）	第3計画期間の基準排出量に対し、削減計画期間中年平均で22%以上を削減します。				
削減目標 その他ガス					

エネルギー起源CO_2の削減目標の概要	排出可能上限量（計画期間合計）	32,966	t-CO_2		
	削減目標量（計画期間合計）	9,299	t-CO_2	事業所区分	第1区分－(1)

（2）第４計画期間の削減目標

計画期間	7	年度	～	11	年度
削減目標 エネルギー起源CO_2（必須）	計画期間中の目標として、基準排出量に対し、第4計画期間目標削減率５０％を目指します。				
削減目標 その他ガス					

事業所番号	011601

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告（B,C事業所用）　　C事業所(2)

３－１　事業所の温室効果ガス排出量

（１）原油換算エネルギー使用量の推移

	計画期間				
	令和２年度（2020年度）	令和３年度（2021年度）	令和４年度（2022年度）	令和５年度（2023年度）	令和６年度（2024年度）
原油換算エネルギー使用量(kL)	2,620	2,704	2,700	2,825	2,859

（２）計画期間の温室効果ガス排出量の推移

CO_2換算（t-CO_2）

		計画期間				
		令和２年度（2020年度）	令和３年度（2021年度）	令和４年度（2022年度）	令和５年度（2023年度）	令和６年度（2024年度）
エネルギー起源CO_2		5,112	5,273	5,267	5,507	5,573
	前年度比（％）	—	3.1	-0.1	4.6	1.2
その他ガス	非エネルギー起源CO_2					
	メタン					
	一酸化二窒素					
	ハイドロフルオロカーボン					
	パーフルオロカーボン					
	六ふっ化いおう					
	三ふっ化窒素					
温室効果ガスの合計		5,112	5,273	5,267	5,507	5,573

（３）計画期間の温室効果ガス排出量原単位の状況（エネルギー起源CO_2）

CO_2換算（t-CO_2/指標）

		計画期間				
		令和２年度（2020年度）	令和３年度（2021年度）	令和４年度（2022年度）	令和５年度（2023年度）	令和６年度（2024年度）
エネルギー起源CO_2排出量原単位		113.9545	117.5435	117.4097	122.7597	124.2309
	前年度比（％）	—	3.1	-0.1	4.6	1.2
活動規模の指標	単位					
延床面積	千m^2	44.86	44.86	44.86	44.86	44.86

日本産業規格Ａ列４番

（４）エネルギー起源CO_2排出量の増減に影響を及ぼす要因の分析

令和２年度（2020年度）	建物の床面積の増減	無	建物の用途変更	無	設備の増減	無
	コロナ感染防止のため、休業や時短営業を実施したことによる使用量減少。 経済情勢を踏まえ、省エネ設備投資の実施見送り。					
令和３年度（2021年度）	建物の床面積の増減	無	建物の用途変更	無	設備の増減	無
	感染症における行動緩和が広がり、昨年度より営業時間および来客者数も増加のため、エネルギー使用量増。					
令和４年度（2022年度）	建物の床面積の増減	無	建物の用途変更	無	設備の増減	無
	夏季および冬季において、デマンド抑制に注力し、負荷設備の節電運用を実施した結果、前年比で電気の年間使用量が減少。					
令和５年度（2023年度）	建物の床面積の増減	無	建物の用途変更	無	設備の増減	無
	前年に比べ平均気温上昇に加え、来客数の増加によって、エネルギー負荷が増加した。 レストラン利用人数は前年比約４０％増加している。					
令和６年度（2024年度）	建物の床面積の増減	無	建物の用途変更	無	設備の増減	無
	お客様の要望を受け、室温調整および加湿調整を含め熱源負荷の上昇により、使用量・排出量とも前年比で１．２％増加の結果となった。					

事業所番号	011601

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告（B,C事業所用）　　C事業所(4)

３－２　温室効果ガス削減目標に係る状況

（１）　基準排出量

基準排出量	8,453	t-CO_2/年
基準排出量の検証	実施済	

（２）　基準排出量の変更

	変更年度	変更量（t-CO_2/年）
1		
2		
3		
4		
5		

（３）目標削減率

目標削減率の区分	第１区分－（１）

（４）削減計画期間

2	年度から	6	年度まで

（５）年度ごとの状況

（排出量等の単位：t-CO_2）

		令和２年度(2020年度)	令和３年度(2021年度)	令和４年度(2022年度)	令和５年度(2023年度)	令和６年度(2024年度)	削減期間合計
基準排出量等	基準排出量(A)	8,453	8,453	8,453	8,453	8,453	42,265
	目標削減率の緩和措置						
	トップレベル認定						
	目標削減率(B)	22.00%	22.00%	22.00%	22.00%	22.00%	
	排出上限量（C＝Σ A-D）						32,966
	排出削減目標量(D＝Σ(A×B))						9,299
実績	エネルギー起源CO_2排出量(E)	5,112	5,273	5,267	5,507	5,573	26,732
	削減率（F＝(A－E)/A）	39.52%	37.62%	37.69%	34.85%	34.07%	―
	排出削減量（G＝A－E）	3,341	3,180	3,186	2,946	2,880	15,533
各年度の排出量の検証		実施済	実施済	実施済	実施済	実施済	

4　温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況

No	対策の区分			対策概要	実施予定年度	実施した年度	推計削減量(t)（1年度当たり）
	区分番号	区分名称 大区分	中区分				
1	150200	受変電設備、照明設備、電気設備	15_照明設備の運用管理	ホテル　照明器具更新（レストラン・ホテルフロント周り）	R5	R5	
2	120200	熱源設備・熱搬送設備	12_冷凍機の効率管理	吸収式冷凍機整備	R6	R6	
3	160100	昇降機、建物	16_昇降機の運転管理	ホテル　エレベーター更新（2台）	R5	R5	
4	160100	昇降機、建物	16_昇降機の運転管理	ペペ　エスカレーター改修　(1/3)	R5	R5	
5	150200	受変電設備、照明設備、電気設備	15_照明設備の運用管理	ホテル　照明器具更新	R7以降		
6	120200	熱源設備・熱搬送設備	12_冷凍機の効率管理	ペペ　PMAC用冷却塔更新（ペペ閉館のため、中止）	R7以降		
7	120200	熱源設備・熱搬送設備	12_冷凍機の効率管理	吸収式冷凍機更新	R7以降		
8	120100	熱源設備・熱搬送設備	12_燃焼設備の管理	ボイラー　エコノマイザー設置（1/2）（R2　延期分）	R7以降		
9	130100	空気調和設備・換気設備	13_空気調和の運転管理	ホテル客室　FCU更新工事	R7以降		
10							
11							
12							
13							
14							
15							

５　事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

（※希望者のみ記載）

自由記述欄

R2年の計画工事は、感染症の影響によって売上が激減した事で、計画中止とした。
R5年から優先順位を付けて計画を予定する。
Ｒ5年の計画においても再精査をした結果。次年度以降にスライド計画とする。
Ｒ6（6月実施）吸収式冷凍機整備にて能力維持を実施。その他項目の更新計画はスライドする。
Ｒ７年から再度計画を遂行する。
Ｒ８年1月を以て、店舗棟を休止予定であり、再エネに関する設備投資等の計画は保留。